

みなとオアシスのトピックス

第54回江差追分全国大会を開催【みなとオアシス江差】

江差の長い歴史と風土のなかで、幾多の変遷を経ながらこの地に根付き、育まれてきた”江差追分”。起源は江戸時代中期以降と言われており、長い年月のなかで郷土に溶け込み唄い継がれてきました。

その江差追分を、全国から選り抜かれた唄い手、約370人が集い、日本一のノドを競い合う、第54回江差追分全国大会、第20回江差追分熟年全国大会、第20回江差追分少年全国大会が、9月16日(金)～18日(日)の3日間、江差町文化会館において開催されました。

江差追分全国大会は、昭和38年(1963年)に第1回大会が開催されて以来、単一民謡の全国大会としては最も歴史ある大会です。

アトラクションには、今回より国指定重要無形民俗文化財「アイヌ古式舞踊」が初めて披露された他、少年少女による江差追分の大合唱も行われました。

この秋の3日間は、会場である江差町文化会館を拠点に江差の町すべてが追分の舞台となり、熱気と興奮のなか江差追分一色に染まっていました！



江差追分全国大会の様子



江差追分全国大会表彰式の様子



アトラクション(アイヌ古式舞踊)の様子



アトラクション(少年少女大合唱)の様子